

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1305112	公衆栄養学実習 Practice of Public Health Nutrition	上島 寛之	専門	1	必修	3年 前期
科目の概要						
公衆栄養学実習では、地域や社会集団における健康・栄養に関する情報を収集・分析することで問題点を見出し、それらを科学的根拠に基づき解決していくための実践的な能力を養う。班毎に公衆栄養プログラムの策定を行い、内容及び実施の可能性についてプレゼンテーションを行い評価する。						
学修内容			到達目標			
① 食生活・栄養状態の調査および評価 ② 既存資料の活用 ③ 公衆栄養プログラムの計画 ④ 公衆栄養プログラムの実施(プレゼンテーション) ⑤ 公衆栄養プログラムの評価 以上5点を中心に学ぶ			① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる ② 既存資料から、健康・栄養状況の課題を1つ以上読み取ることができる ③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる ④ 上記プログラムについて他者に説明し実施できる ⑤ 公衆栄養プログラムの評価について説明できる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	与えられた課題にむけて自らアクションを起こす				
	働きかけ力					
	実行力	計画だけでなく、具体的な行動を実施する				
考え抜く力	課題発見力	授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出す				
	計画力					
	創造力	既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考える				
チームで働く力	発信力	自らの考え・アイデアを相手が理解できる形で伝える				
	傾聴力	相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる(=きちんと確認を取る)				
	柔軟性					
	状況把握力	現状の課題と展望について整理する				
	規律性	ルール設定の意味を考え、適切に設定する				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:使用しない。プリントを適宜配布する 参考書:わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著(同文書院)						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:基礎栄養学、公衆衛生学Ⅰ、Ⅱ、情報処理演習、食品学、応用栄養学、栄養教育論、栄養指導論、公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ 臨地実習(行政栄養)						
学修上の助言			受講生とのルール			
内容は「公衆栄養学Ⅰ」にて学習した内容を応用するものです。これまで学習した内容が記載された教科書やノートをぜひ活用して臨んでください。			実習は普通の座学とは異なり、グループワークが中心となります。これは今後社会人として自立するためにも大切な経験となります。各人が責任を持ちつつも、実習を楽しむ気持ちをもって実習に臨んでほしいと思います。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	50	①	✓	学期末試験としてレポート試験を実施する。 「評価基準表(ルーブリック)」を用いて、レポートを評価する。レポート作成に関する説明の際に「評価基準表(ルーブリック)」を掲示する。なお、提出期限までにレポートを提出しなかった場合は、当該評価配点は0点とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	相互評価を点数化し満点を20点、教員の評価は20点満点とする。 なお、プレゼンテーションの相互評価は、他を評価し、他から評価されることにより、自班及び自己の優れた点と問題点をよく認識できることが目的である。 評価項目については、プレゼンテーションの事前に発表する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・与えられた課題にむけて自らアクションを起こすことができる (実行力) ・計画だけでなく、具体的な行動を実施することができる (課題発見力) ・授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出すことができる (創造力) ・既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる (発信力) ・自らの考え・アイデアを相手理解できる形で伝えることができる (傾聴力) ・相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる (状況把握力) ・現状の課題と展望について整理できる (規律性) ・ルール設定の意味を考え、適切に設定することができる 例)6回以上の欠席は0(放棄)判定となるルールを守るなど
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
以下の基準を満たすものとする(S:5項目、A:4項目) ① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる ② 既存資料から健康・栄養状況の課題が読み取ることができる ③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる ④ 上記プログラムについて他者に説明できる ⑤ 公衆栄養プログラムの評価について、説明できる	以下の3項目の基準を満たすものとする ① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる ② 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる ③ 上記プログラムについて他者に説明できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「オリエンテーション」 公衆栄養学実習の目的および進め方について学ぶ	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 公衆栄養学 I で学修した内容を確認し、本科目のシラバスを讀んでおく (復習) グループで実習の流れを確認し、要点をまとめておく	15	課題発見力 傾聴力
2週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析①」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 発信力 傾聴力
3週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析②」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 実行力 創造力
4週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析③」 食生活・栄養状態の調査を実施し、解析と評価コメントの作成を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把握しておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析④」 アンケート調査(同意書含)の設計・実施と既存資料を活用した地域診断を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑤」 アンケート調査(同意書含)の設計・実施と既存資料を活用した地域診断を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
7週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑥」 アンケート調査(同意書含)の設計・実施と既存資料を活用した地域診断を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 発信力 傾聴力
8週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑦」 アンケート調査(同意書含)の設計・実施と既存資料を活用した地域診断を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 実行力 創造性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「地域・社会集団における健康状況の実態把握と課題分析⑧」 アンケート調査(同意書含)の設計・実施と既存資料を活用した地域診断を行う	講義およびワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	「公衆栄養プログラムの作成①」 抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う	ワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
11週 /	「公衆栄養プログラムの作成②」 抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う	ワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 実行力 課題発見力
12週 /	「公衆栄養プログラムの作成③」 実施内容の検討と指導媒体の作成を行う	ワーク形式	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し発表の準備をする	15	主体性 実行力 課題発見力
13週 /	「公衆栄養プログラムの発表①」 各事業計画の発表を実施	ワーク形式 プレゼンテーション	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) グループで発表の練習を行う (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく	15	主体性 課題発見力 傾聴力
14週 /	「公衆栄養プログラムの発表②」 各事業計画の発表を実施	ワーク形式 プレゼンテーション	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) グループで発表の練習を行う (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく	15	主体性 課題発見力 傾聴力
15週 /	「公衆栄養プログラムの評価内容の発表とまとめ」 各班が実施した公衆栄養プログラムの総合的な評価結果の発表 公衆栄養プログラムの流れを体験したうえで、意見交換やふりかえりの発表を通じて、公衆栄養マネジメント理解の一助とする	ワーク形式 プレゼンテーション	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) これまでの実習をふりかえり、要点をまとめておく (復習) これまでの配布資料を確認し、内容の理解を深める	15	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力